

兼業依頼状(①兼業従事許可申請書・許可書)(②兼業従事届出書)

年 月 日

公立大学法人静岡文化芸術大学 理事長 様

所在地 〒 _____
 団体の名称 _____
 代表者 _____ 印
 連絡先 所属・担当者名: _____
 電話番号: _____

下記のとおり、貴法人職員に兼業を依頼したいので、承諾くださるようお願いいたします。

記

兼業の内容について（太枠内の該当する項目の□をチェックするとともに、必要事項を記入してください。）

①団体の種類、事業内容	・種類： ・業務内容：
②兼業従事者	所属： 職名・氏名：
③兼業従事者の役職	
④兼業従事者の業務内容、兼業先所在地	
⑤兼業期間	_____年_____月_____日（□兼業許可日）から_____年_____月_____日まで
⑥業務態様	勤務態様：・毎_____曜日 _____時_____分～_____時_____分（全_____回） ・（□年・□月・□週・□期間内）につき_____回（全_____回） ・その他（_____） 1回あたり_____時間
⑦報酬等	報酬：□無 □有 _____円（□年・□月・□週）につき _____円 その他（_____） 旅費：□無 □有
⑧本法人の回答	□不要 □要(宛名を明記した返信用封筒を送付してください)
⑨情報開示	本兼業依頼状について開示請求があった場合、開示して差し支えのあるもの。 □団体名(代表者名・事業内容を含む) □役職名 □職務内容

以下は本学使用欄ですので、記入不要です。

兼業従事許可申請書(届出書)（申請者(届出者)が記入） 上記兼業について従事したいので、《①許可を申請します。②届け出ます。》 兼業先までの往復時間は約 _____時間 _____分程度です。 <input type="checkbox"/> 兼業の従事時間および兼業先までの往復時間は本学の授業・会議等業務時間帯に含まれません。 <input type="checkbox"/> 上記兼業は、公立大学法人静岡文化芸術大学職員兼業規程の第8条1項各号のいずれにも該当し、また、第2項に規定する予備校等の講師として従事するものではありません。	
年 月 日 所属：	職・氏名： 印
上記の兼業は、当該職員の本務の遂行等に支障がないものと認めます。（届出の場合は、記入不用） 年 月 日 所属長	
従事時の服務：□本来業務に準ずる業務 □職務専念義務免除 □勤務時間外・休暇	
公立大学法人静岡文化芸術大学職員兼業規程の第6条1項に基づき、上記の兼業を許可します。 年 月 日 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事長	